

## 五色幕 (ごしきまく)



この五色は五正色（ごしょうじき）とか五大色（ごだいじき）ともいって、正式には、緑色は青色で紫色は黒色となります。この『白・赤・黄・青・黒』の五色の意味については、大まかには二つの考え方が伝えられていますが後者について説明いたします。

### 五色幕 (ごしきまく) 五色はお釈迦さまの御体や御教えを表す色

この五色は五正色（ごしょうじき）とか五大色（ごだいじき）ともいって、正式には、緑色は青色で紫色は黒色となります。この『白・赤・黄・青・黒』の五色の意味については、大まかには二つの考え方が伝えられています。

一つには中国の五行説に関連づけられたもの。

二つには真言密教の説に基づくもので、いずれも、先の五つの色によるものです。

このうち、真言密教に基づくものが、「お不動さまの幕に関係する五色」となると言われています。真言密教における五色とは、金剛界曼荼羅の五仏に関連するもので、白は中央の大日如来を、青は東方の阿閼如来、黄は南方の宝生如来、赤は西方の阿弥陀如来、黒は北方の不空成就如来と、その持てる徳をそれぞれ表すというものです。また、密教の五大（五輪）説とも関係づけられており、その五大説とは、全ての存在は地大、水大、火大、風大、空大によって構成されていると説くもので、地を象徴するものとして方形(四角)と黄、水は円形で白、火は三角で赤、風は半月で黒、空は団形(宝形)で青とされます。これを下から順に重ねると五輪塔となり大日如来のお姿そのものとなります。そしてこの大日如来と不動明王とは同体である事とから、この五色はお不動さまの色であるとも考えることができるのだそうです。

五色にはこのような意味があるのです。

幕の名称は五色幕といい、基本的に青、黄、赤、白、黒の五色が用いられますが、世界仏教徒会議で決められた国際仏旗のように黒色の代わりに樺色や、紫色が使われる場合があります。

また、青色を緑色で表す場合もあり、成田山の五色幕は、緑色と紫色の入った幕を用いています。

五色は、インドの五大（地・水・火・風・空）の思想や

中国の五行（木・火・土・金・水）の思想に由来しています。

仏教では一般的に、お釈迦さまの御体や御教えを象徴的に表すものとして次のように解釈されています。

仏陀＝ここでは御釈迦様のこと

- 青（緑）=仏陀の頭髪の色。心乱れず穏やかな状態の「禪定」（ぜんじょう）「定根」を表す。
- 黄=仏陀の身体の色。豊かな姿で確固とした揺るぎない「金剛」（こんごう）を表す。
- 赤=仏陀の血液の色。人々を救済しようとする慈悲心が止やむことのない「精進」（しょうじん）を表す。
- 白=仏陀の歯の色。さまざまな悪業や煩惱を浄める「清浄」（しょうじょう）を表す。
- 黒（紫）=仏陀の袈裟の色。侮辱や迫害に怒りを抑えて耐たえ忍ぶ「忍辱」（にんにく）を表す。

### 成田山の五色幕はお不動さまを表す

弘法大師が伝えられた真言密教における五色は、五仏・五智・五方などを表すものとして、成田山では御堂の荘厳などにも用いられています。

基本的に青、黄、赤、白、黒の五色が用いられますが、成田山では緑・黄・赤・白・紫の五色が用いられています。

五仏は、大日如来と、その智徳を具体的に表した仏さまである

阿闍如来、宝生如来、阿弥陀如来、不空成就如来。五智は、それぞれの仏さまが表す智徳です。

五方は、中央と東、西、南、北で五仏が配されている方位になります。

成田山の五色幕はお不動さまを表す。この様に、真言密教での五色は大日如来そのものを表していますから、大日如来を本地仏とする不動明王であるともいえるのです。

成田山では、お不動さまと参詣の皆さまとの御縁が深まるよう、正月や年中行事の時などに五色幕を掛けています。

成田山 HP 参考

五色幕は、仏教の寺院であることを示し、お釈迦様の教えを広く伝えていく事を表している。

真言宗では、五色の色はそれぞれ五智如来に対応しており、

五つの智慧を表す色として知られています。

### 五つの智慧（ちえ）とは？

青色（紫色）：鏡のように、現世の全てものを差別なく映し出す智慧

赤色（金色）：すべての現世のものが平等であることを知る智慧

黄色：物事の本質を明らかにし、統合させて絶対なる智慧

白色：すべての現世のものを正しく見極める智慧

黒色：すべての現世のものを完成させる智慧

知恵（ちえ）とは、学問や知識などの身につけた情報の事を指します。

智慧（ちえ）とは、修行の結果として得られた仏様の心・仏様の様に正しく判断する能力の事を言います。

真言密教における五色とは、金剛界曼荼羅の五仏に関連するものです。

成田山は真言宗智山派の大本山です。真言密教では五色の色は（これについては諸説あります）

「白」は中央の大日如来（だい nich によらい）

「緑」は東方の阿閃如来（あしゆくによらい）

「黄」は南方の宝生如来（ほうしょうによらい）

「赤」は西方の阿弥陀如来（あみだによらい）

「紫」は北方の不空成就如来（ふくうじょうじゆによらい）

その持てる徳をそれぞれ表す。